

# 火 災

## 住宅防火いのちを守る 10 のポイント

◎政府広報オンラインホームページから引用



### 住宅用火災警報器の適切な維持管理を

火災警報器は、長い期間取り付けしていれば機器の故障などにより、交換が必要になります。実際に火災が起きた時に、確実に作動するよう適切な維持管理をお願いします。

### おおむね 10 年を目安に、機器の交換をお勧めします。

火災警報器の交換は、機器に交換時期を明示したシールが貼ってあるか「ピー」という音などで交換時期を知らせてくれるものもあります。その目安が概ね 10 年です。詳しくは購入時の取扱い説明書を確認してください。

### 電池タイプは交換を忘れずに！

電池タイプの火災警報器は電池の交換が必要です。定期的な点検のときに「電池切れかな？」と思ったら早目に交換することをお勧めします。

### 定期的に作動するか点検しましょう。

1 ヶ月に 1 回程度、定期的に火災警報器が鳴るかどうか、テストしましょう。

点検方法は、本体の引きひもを引くものや、ボタンを押して点検できるものなど、機種によって異なりますから取扱い説明書を確認してください。



# 火災を発見したら

## 通報・連絡

### ●大声をあげて近所に知らせて119番

- 1 周囲に知らせる
  - 必ず大声で周囲に知らせる
  - ひとりで行動しないで、できるだけ多くの人に助けてもらう。
- 2 119番通報する
  - 安全なところから落ちついて119番通報する

## 119番通報の仕方

消 防：消防です。火事ですか、救急ですか。

通報者：火事です。

消 防：**場所**はどこですか。

通報者：〇〇町〇番〇号の〇〇アパートです。

消 防：近くに大きな**目標物**はありますか。

通報者：〇〇公園の西側です。

消 防：**何が（どこが）燃えていますか。**

通報者：2階から火が出ています。

消 防：**けが人や逃げ遅れ**はいますか。

通報者：全員避難しています。けが人はいません。

消 防：分かりました。すぐに向かいますので、消防車が近くにきたら誘導をお願いします。最後に貴方の名前を教えてください。

通報者：〇〇です。



## 避難

- 人命を守るのが最優先です。危険だと思ったら、大きな声で周りに知らせながら、まず、避難してください。
- 煙には一酸化炭素など有毒ガスが含まれています。煙を多量に吸い込むと、中毒死することもあります。熱せられた煙は上へ移動しますので、姿勢を低くして、口と鼻にタオルなどをあてて避難しましょう。
- 避難経路は1方向だけでは炎・煙で避難できなくなる恐れがあるので、日頃から2つの方向の避難経路を確認しておきましょう。
- 避難はお年寄り、身体の不自由な方、子どもを優先的に。

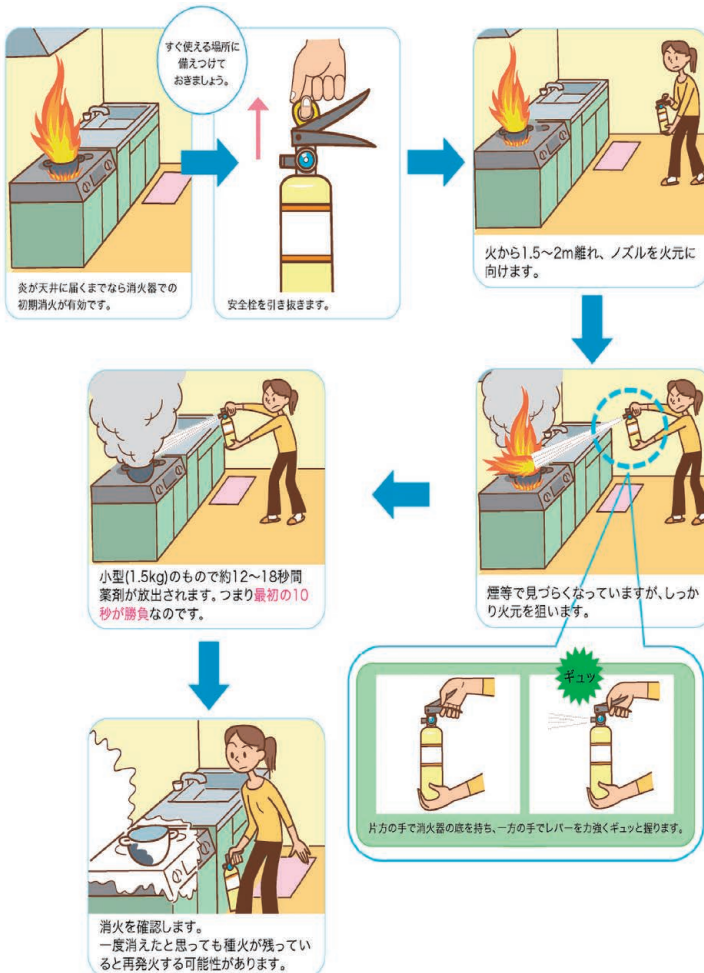


## 初期消火

火災を大きくしないためには、できるだけ早く消火することが大切です。

万一のために消火器を備えておき、いつでも使えるところに置いておきましょう。

### ◎政府広報オンラインホームページから引用



- エレベーターは電気が不通になった場合、閉じ込められる可能性があるので使用しない。
- いったん避難したらドアを閉め、絶対に戻らない。
- デパート等の商業施設で火事になった場合は、店内の避難放送や誘導員の誘導に従って、落ち着いて行動する。

